



第12回 中学生まちづくり議会

1月30日、市議会議場において「第12回 中学生まちづくり議会」を開催しました。中学生まちづくり議会は、本庄市の次代を担う中学生に、市政を身近に感じ関心をもってもらうために開催しています。市内の6校の中学生18人が参加し、一般質問や議案提出などが行われました。

議員提出議案

身近な事故を未然に防ごう！～ Safety school life ～



本庄南中学校
伴 琴梨 議員

本庄市は、1,000人あたりの人身交通事故発生件数が3年連続県内ワースト1位になってしまいました。私たちは、これらを知り、交通事故をゼロにしたいと思い『身近な事故を未然に防ごう！～ Safety school life ～』を提案します。

事故を未然に防ぐための、本校での具体的な取り組みを3点紹介します。

1点目は、給食の時間を用いて自転車の安全利用を啓発するためにつくられた「5 song」を放送し、「自転車安全利用五則」について楽しく覚えてもらうことです。

2点目は、自転車安全利用五則や歩行者の交通ルールなどから、生徒会がオリジナルのチェックリストや、確認小テストを作成、実施することで事故を未然に防ぐ意識を持ってもらうことです。

3点目は、ポスターの作成です。「交通ルール5ヶ条」を作成し、校内に貼り、注意を促します。本庄市内での交通事故を未然に防ぐことは、埼玉県全体の事故の件数を減らすことにもつながります。事故は不意にやってきます。大切な自分の命、みんなの命を守るためにも、事故を未然に防ぐための努力は非常に大切だと考えます。

学校ごとに、実態に合わせた具体的な取り組みを考え、事故を未然に防ぐ活動を行っていくのが、どうでしょうか。



本庄第一中学校
村山 菫 議員

マルシェ(市場)の開催について

質問：はにぼんプラザで地元野菜等の名産品を一堂に集めたマルシェを開催することを提案します。そこで地元の名産品を使った料理教室や植栽体験などを行ったりすると、まちおこしにつながると思いますが、私たちが提案するマルシェの開催をどのように思われますか。また、市が企画し多くの人が訪れるイベントはどのようなものがありますか。

回答：「マルシェ」は、多くの人々を集め、楽しんでもらえる仕組みとして、非常に効果的であると思います。提案いただいたマルシェのアイデアは、今後の市の取り組みに活かしていきたいと思っております。開催方法については、市内に6つある高校の生徒が企画するイベント「六高祭」など何らかのイベントとコラボして行うのが、取り組みやすいと考えています。来年度、面白いアイデアのひとつとして、「六高祭」へ提案してみようかと思っております。次に、多くの人が訪れるイベントですが、「はにぼんプラザ」は、はにぼんフェスティバル」などがあります。今後、これらのイベントと一緒にマルシェを開催することを考えています。



本庄東中学校
木村 壮吾 議員

本庄市の観光PRについて

質問：本庄市は、豊富な観光スポットや地元の人にも人気のグルメがあるにも関わらず、観光客が少ないように感じますが、観光PRは具体的にどのように行っていますか。また、「ふるさと本庄」に農産物直売所やお得になるクーポンをつけたり、新幹線の止まる熊谷駅など近隣の駅にも配布して、観光PRにつなげることはできないでしょうか。

回答：観光PRの取り組みについては、市内のお店のほか、高崎駅から熊谷駅までの各駅、東京にある県のアンテナショップなどの県施設に設置し、また、観光情報を市観光協会のホームページ、周辺自治体と協力したフェイスブックでPR、本市にきた人への観光案内や本庄みやげの紹介販売等を本庄市インフォメーションセンターで行っています。「ふるさと本庄」へクーポンをつけることについては、次回作成時に参考にさせていただきます。また、調査、研究などを行うと、多くの人が手に取っていただけるものと考えています。



児玉中学校
武政 来輝 議員

非常時の備えについて

質問：近年、弾道ミサイルの脅威が多く、生活が脅かされる報道が多くなっています。そこで、Jアラートが発令された場合、Jアラートを用いた避難訓練の実施計画を教えてください。そして、学校が避難所になった場合、中学生が何か手伝えることがありますか。

回答：弾道ミサイルで被害が発生した場合、被害状況や、どこにどうやって逃げるかなど、市だけではすぐには分かりませんので、さまざまな情報を持って国から、県知事を通じて市長に避難に必要な指示があります。市ではこの指示に基づき、市民に情報を伝え、避難指示します。これらの内容は、市で策定した「本庄市国民保護計画」に定められています。Jアラートを用いた避難訓練は現在未実施ですが、今後この計画に基づき、実施に向け、国・県等にはたらかせていきます。中学生が手伝えることについては、避難所では、避難してきた人の荷物の運搬、マット敷き、清掃などさまざまなことがあります。できることを積極的にお願いします。



本庄西中学校
田中 美裕 議員

本庄駅周辺の路上喫煙、街灯の設置、図書館の新たな取り組みについて

質問：本庄駅周辺を受動喫煙の心配なく利用できるように路上喫煙を禁止してはどうか。また、次に長松寺周辺から旭小まで、イネに影響が少ないうちで、埋め込み式の街灯を設置できないでしょうか。最後に、リニューアルされた図書館で、新たに実施・予定しているイベント等がありますか。

回答：路上喫煙を禁止にすることについては、受動喫煙を防止するためには、さまざまな対策が考えられます。また、他市町村を参考にしながら研究するとともに、喫煙マナー向上を啓発していきたいと思っております。街灯の設置については、ご提案は、大変興味深いものです。埋め込み式照明の歩行者への安全性効果や埋め込み式照明が一般に情報収集を行っているのか等の情報収集を行っているのか等について、最後に図書館でのイベントですが、図書館をよ利用していただくために、おはなし会や企画展等を開催しています。今後は、「科学あそびの会」の企画など新たな取り組みが考えられます。



本庄東高校附属中学校
並木 旦陽 議員

イベント参加状況やスポーツ施設の利用について

質問：スポレクフェスタ等のイベントで市民参加が少なく感じます。広報紙以外でどのように広報を行っていますか。次にシルクドームで、休日は団体利用等で個人利用が思うようにできないように感じますが、スポーツ施設の利用状況をどのように周知していますか。また、休日どこか1施設を個人利用向けに空けるよう利用調整できますか。

回答：スポレクフェスタは昨年約7,300人も参加がありました。多くの市民に浸透してきたと実感しています。スポレクフェスタでは、広報紙と一緒にチラシを配布したほか、自治会の掲示板や公民館等へのポスター掲示や、小学校の児童全員にチラシを配布するなど、色々な場所やさまざまな方法でPRしました。施設の利用状況の周知方法ですが、市のホームページで空き状況を確認できるようにしています。また、電話対応もしています。最後に、施設の利用調整については、一定のルールのもと予約していただいているのですが、どのような方法が最良か今後とも考えていきたいと思っています。



本庄南中学校
上野 響誉 議員

高齢者に優しい街づくりについて

質問：高齢者が暮らしやすくなるのが、良い街づくりになるかと考えますが、本庄駅にエスカレーターを設置計画はありますか。また、暗い通りを中心に街灯を増やすことはできませんか。最後に、運転免許の返納者や高齢者を対象に「はにぼん号」の利用を無料にすることはできませんか。

回答：階段をバリアフリー化する際、高齢者等が簡単に移動可能な「エレベーター」を設置することが基本となっております。現在、本庄駅もエスカレーターではなく、エレベーターが北・南口に設置されています。街灯を増やすことについては、街灯は、高齢者を含めた市民が、安全で安心して暮らせるために重要なものなので、今後も街灯の設置をしっかりと実施していきたいです。最後に「はにぼん号」の利用無料化については、「はにぼん号」は利用料金と国・市の補助金で賄われています。利用料金を無料にすることで財政負担も必要となりますので、今後どのように設定していくか総合的に考えていきたいと思っています。

※質問、答弁の内容は、要約して掲載しています。ご了承ください。